

2021年フォレスト 質問書&スコアリング 変更点

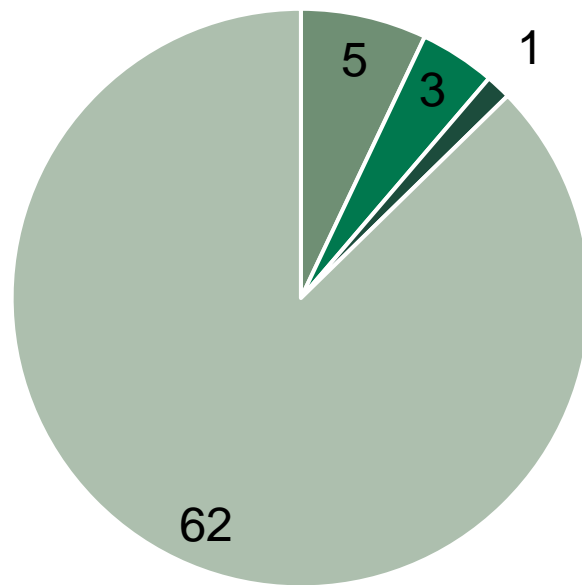
2021年4月28日

- 本資料では、2021年 フォレスト質問書における変更点についてご紹介しておりますが、特に影響の大きいものを中心に取
り上げております。全ての変更点を含む包括的な情報につきましては、以下の資料よりご確認ください。
- CDP 質問書は後から修正を加えることがございます。CDPでは日本語による情報提供も実施しておりますが、よりタイム
リーで正式な情報源としましては、以下の英語の資料をご覧ください、日本語の資料は参考情報としてご活用ください。

関連資料	概要	掲載場所
2021年フォレスト スコアリング基準	各設問ごとの、詳細なスコアリング基準をご確認いただけます。言語を日本語に切り替えていただくことが可能です。	リンク
2021年フォレスト 報告ガイダンス	各設問の意図、ご回答いただきたい内容、用語の定義等をご確認いただけます。言語を日本語に切り替えていただくことが可能です。	リンク
2020年-2021年 フォレスト 質問書変更点	前年（2020）の質問書から変更された箇所をご確認いただけます。	リンク
2020年-2021年 フォレスト スコアリング基準変更点	前年（2020）のスコアリング基準から変更された箇所をご確認いただけます。	リンク
2021年フォレスト 評価カテゴリーの重みづけ	CDPのスコアリングでは、マネジメントレベル及びリーダーシップレベルの評価において、カテゴリーが設定されており、各カテゴリーに適用される評価上のウェイトニングをご確認いただけます。	リンク
CDP 開示サポート 日本サイト	CDPでは日本企業様による開示を支援するために、日本語を通じた情報提供をしております。随時資料を公開していきますので、ぜひご参考にしていただければと思います。	リンク

質問書変更点サマリー

2021 フォレスト質問書の構成



- 微修正された質問
- 変更された質問
- 新しい質問
- 変更のない質問

94%の質問は2020年から変更なしもしくは微修正

新規セクターはなし

2021年全質問：71

- ・ 新規質問: 1
- ・ 変更質問: 3
- ・ 削除質問: 0

注) 上図で示している変更点サマリーは、質問に関するものであり、スコアリングの変更点は考慮されていません。

スコアリングカテゴリーの変更点

スコアリングカテゴリー	
Land-based metrics (土地基準の指標)	
Consumption and production data (消費と生産に関するデータ)	
Forest risk and impact assessment (森林リスクと影響評価)	*
Forest-related risk exposure (森林関連リスクエクスポージャー)	*
Forest-related opportunities (森林関連機会)	
Governance (ガバナンス)	
Policy and commitments (方針とコミットメント)	
Business strategy (事業戦略)	
Targets (目標)	
Traceability (トレーサビリティ)	*
Certification (認証)	
Engagement (エンゲージメント)	
Sign Off (最終承認)	*
100% Disclosure (情報開示スコア満点)	*

* = カテゴリーウェイト（重みづけ）に変更があるカテゴリー

← 新設問のF1.5eは「消費と生産に関するデータ」カテゴリーに含まれます。
F1.5eに関する詳細はp8をご参照ください。

← F6.3から分離したF6.3aは「認証」カテゴリーに含まれます。
F6.3aに関する詳細はp20-22をご参照ください。

← 除外に関する設問(F0.5, F0.5a)は2021年から「情報開示スコア満点」カテゴリーに含まれます。

スコアリングカテゴリーの変更点

一部のカテゴリーにおいて、ウェイト（重みづけ）が変更されております。

スコアリングカテゴリー	マネジメントレベル	リーダーシップレベル
Land-based metrics (土地基準の指標)	9%	9%
Consumption and production data (消費と生産に関するデータ)	7%	0%
Forest risk and impact assessment (森林リスクと影響評価)	12% → 10%	12% → 10%
Forest-related risk exposure (森林関連リスクエクスポージャー)	5% → 7%	5% → 7%
Forest-related opportunities (森林関連機会)	5%	5%
Governance (ガバナンス)	6%	6%
Policy and commitments (方針とコミットメント)	14%	15%
Business strategy (事業戦略)	3%	3%
Targets (目標)	7%	7%
Traceability (トレーサビリティ)	10% → 12%	12%
Certification (認証)	10%	12%
Engagement (エンゲージメント)	9%	10%
Sign Off (最終承認)	3% → 1%	3% → 1%
100% Disclosure (情報開示スコア満点)	0%	1% → 3%

Aリストの選定基準

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



リーダーシップとAリスト基準

いくつかの質問でリーダーシップレベルに関するスコアリングが行われ(詳細は各質問の採点基準を参照してください)、リーダーシップレベルを達成するには最低の閾値のポイントを満たす必要があります。

Aリストのステータスを獲得するためには、企業は回答の中にいくつかの項目が含まれるようにして、以下のいくつかの基準を満たす必要があります:

- スコアリングイントロダクションで概要を示したとおり、リーダーシップポイントの最低閾値スコアを獲得する必要があります;

- 質問F0.5/F0.5aで報告した重大な除外なし:

- 除外(F0.5a)の根拠において、企業は報告した各除外内容の重大さのレベルの指標と、各除外内容が代表するコモディティ使用量の定量的指標を示す必要があります。
- 説明においていかなる種類の根拠または定量的指標も示していない企業は2021年フォレストAリストの資格はありません。
- 直近の合併、買収、または売却による除外は重大な除外とは見なされず、上記基準を免除されます。直近の合併または買収による除外内容を報告する場合、買収が起こった年と、今後いつから回答に当該森林関連データを含める予定かを記述してください。

- すべての直接操業とサプライチェーンの包括的、かつ、徹底的なリスク評価が行われたことを実証している (質問F2.1aで満点の認識ポイントを獲得する)

- コモディティに関連した森林減少と森林劣化に向けた行動を実証している:

- 企業は、質問F6.1、F6.2およびF6.10で[はい]; 質問F4.5で[はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している]; 質問F6.4で[はい、転換および/または森林減少の誓約について実施中のシステムがあります]; および質問F6.8 (該当する場合)で[はい、直接サプライヤーに対してエンゲージメントを行っている]を選択する必要があります;
- 企業はF4.6bでリーダーシップ基準 ii)のポイントを獲得する必要があります;
- 木材製品、パーム油、および大豆の場合のみ: 企業は質問F6.3で[はい]を選択する必要があります。

- 回答を一般に公開している

さらに、企業は多くの確認事項を満たしている必要があり、その詳細はスコアリングイントロダクションをご覧ください。

2020年から、Aリストの選定基準に変更がございませんが、赤枠部分について基準が明確化されました。

設問ごとの変更点 (F0.4, F0.5a)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F0.4) 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティ **(加工品や製造品の原料を含む)** を選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最も良く表したサプライチェーンの段階を特定します。

自社が該当するか否かの判断をより明確化し、より多くの企業による情報開示を促進するため、「加工品や製造品の原料を含む」という文言が追加されました。

(F0.5a) 開示に含まれない直接操業またはサプライチェーンにおける活動についてお答えください。

バリューチェーン上の段階	除外対象	除外の詳細	森林関連リスクの可能性	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none">直接操業サプライチェーン	選択肢: <ul style="list-style-type: none">国/地理的エリア事業活動施設特定の製品ライン特定のサプライヤーその他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大2,400文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none">可能性はない森林関連リスクの可能性はあるが、評価していない森林関連リスクの可能性はあると評価しているが、CDPに開示しない不明	文章記入欄[最大2,400文字]

リーダーシップ採点基準

この質問に対してリーダーシップポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

以下のとおり回答した行の数に比例して、ポイントが付与されます:

i) 除外が適用される森林リスク・コモディティが[除外の説明]欄に含まれている - 0.5ポイント

[説明してください]欄に、以下の内容が記入されている:

ii) 企業の操業のかかなりの部分を代表するかどうかも含め、除外の根拠を説明 - 1ポイント

iii) 除外対象となるコモディティ使用量の定量的評価基準、例えば総生産量/消費量のうちの割合(%) - 0.5ポイント

回答した行の数に関わらず、2ポイントが獲得可能です。

直近の合併/買収による除外に関して:買収が発生した年、且つ、報告にデータを含めることが見込まれる時期を記載している場合、リーダーシップポイントが満点付与されます。

- 2021年から同設問への回答はリーダーシップレベルでのスコアリング対象となります。
- 回答された全ての行について報告することが、満点を取るために必要となります。
- こちらのリーダーシップレベルの要件は、Aリスト選定での基準とも重なっております。

設問ごとの変更点 (F1.5b)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F1.5b) 開示したコモディティについて、原産地の国および/または地方の法律管轄区域で調達された生産量/消費量の割合を示します。

森林リスク・コモディティ	原産地の国/地域	州または同等の法律管轄区域	総生産量/消費量のうちの割合	説明してください
選択肢: F1.5の[...]開示]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: <ul style="list-style-type: none">森林リスク国のリストその他の国/地域原産地不明	選択肢: <ul style="list-style-type: none">州/同等の法律管轄区域を具体的に答えますわかりません開示していない	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	文章記入欄[最大2,400文字]

情報開示採点基準

各行の記入したセルの数に比例して、ポイントが付与されます。

認識採点基準

以下のとおり回答した行の数に比例して、認識ポイントが付与されます:

a) [原産国/原産地]欄で[その他の国/地域]の選択肢が選択されている場合、[総生産量/消費量のうちの割合]欄で0より大きな数を記入 - 2ポイント

または

b) [原産国/原産地]欄で[その他の国/地域]または[不明]を除くいずれかが選択されている場合、[州または同等の法律管轄区域]欄に州/同等の法律管轄区域を記入し、[総生産量/消費量のうちの割合]欄に0より大きな数を記入 - 2ポイント

2020年は1つの行のみが評価対象でしたが、2021年は満点を取るために全ての行で完全に回答する必要があります。

設問ごとの変更点 (F1.5e)

新しく追加された設問



(F1.5e) 貴社はパーム油に由来するバイオ燃料をどのように生産または消費していますか。

貴社はパーム油に由来するバイオ燃料を生産または消費していますか。	データの種類	生産/消費される量	単位	原産地の国/地域
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> (原材料の)生産 消費 	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> リットル ガロン その他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 森林リスク国のリスト その他の国/地域 原産地不明

州または同等の法律管轄区域	総生産量/消費量のうちの割合	貴社のバイオ燃料物質の調達先は小規模農家ですか。	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 州/同等の法律管轄区域を具体的に答えます 不明 開示していない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> <1% 1～5% 6～10% 11～20% 21～30% 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 不明 開示していない 該当なし 	文章記入欄[最大2,400文字]

- 集計データの向上を目的に、一般的なパーム油の生産・消費と区別した設問が新たに設けられました（新設問）
- こちらの設問はF0.4にて、パーム油についての開示を選択した企業のみが対象となります。
- 生産、消費、原産地、小規模農家との関係でバイオ燃料の使用量を分類し、サプライチェーン内でのバイオ燃料に関する詳細をご記入ください。
- こちらの設問は、情報開示レベルのみでの評価となります。

設問ごとの変更点 (F2.1a, F2.1b)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F2.1a) 森林関連リスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択してください。

マネジメント採点基準

...

v) [利用しているツールと方法]欄で、[不明]を除く2つ以上の選択肢が選択されている - 1ポイント

リーダーシップ採点基準

...

ii) 日付と場所を含み 森林関連リスクを評価するためにツールまたは方法をどのように使用したかの事例 - 1ポイント

森林リスク・コモディティそれぞれにつき2ポイントが獲得可能です。

- 「利用しているツールと手法」の新たな選択肢として、「WRI-PALM」が追加されました。
- 「利用しているツールと手法」として、少なくとも2つのツールを使用していることがマネジメントレベルにおいて求められるようになりました。
- 事例の中に「日付と場所」を含めるように、リーダーシップのスコアリング基準が明確化されました。

(F2.1b) 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうちのどの問題を考慮していますか。

問題	関連性および組み入れ	説明してください
...		
市場の喪失		
リーケッジ市場		
森林リスク・コモディティに関連したブランドダメージ		
...		

- 「リーケッジ市場」に関するリスク評価についての回答が新たに求められるようになりました。※リーケッジ市場：資本や収入、コモディティが、環境破壊や風評被害を招きえる不当の活動に転用される市場。
- 回答行が11から12に増えたことを受け、こちらの設問での配点が増えました。
11点 → 12点 (情報開示 レベル)
5.5点 → 6点 (認識, マネジメント, リーダーシップ レベル)



設問ごとの変更点 (F3.1b, F4.1b)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F3.1b) 回答する森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細をご記入ください。

- ・ 「主なリスク要因」の新たな選択肢として、「リーケッジ市場」が追加されました。
- ・ 「リスクへの主な対応」の新たな選択肢として、「再生農業方針を採用（Adopt regenerative agriculture policies）」が追加されました。

(F4.1b) 森林関連の問題に対する取締役会の監督に関する詳細をご記入ください。

認識採点基準

本質問で認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが2ポイント以上付与されている必要があります。

i) [森林関連の問題が予定された議題として取り上げられる頻度]欄で[その他、具体的にお答えください]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 0.5ポイント

~~ii) [森林関連の問題が組み込まれているガバナンスのメカニズム]欄で、各ドロップダウン選択肢からの選択に対して0.5ポイント、最大6ポイントの認識ポイントが付与されます。~~

~~6.5ポイントが獲得可能です。~~

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが4ポイント以上である必要があります。

- [森林関連の問題が定期的に議題として取り上げられる頻度]欄で、[定期的 - すべての会議]または[定期的 - 一部の会議]を選択 - 1ポイント

[説明してください]欄で：

~~ii) 選択したガバナンスのメカニズムが森林問題に関する取締役会の監督にどう寄与するかを説明 - 1ポイント~~

~~2ポイントが付与される。~~

- ・ 他のプログラム（気候変動、水セキュリティ）と評価基準を揃えることを目的に、一部の評価基準が除外されました。
- ・ 一部の評価基準の除外を受け、認識レベルでマネジメントレベルでの配点に変更されました。
認識レベル：6.5 → 1
マネジメントレベル：2 → 1

設問ごとの変更点 (F4.2, F4.3a)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F4.2) 森林関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会をご記入ください。

認識採点基準

この質問で認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが3ポイント以上付与されている必要があります。

- i) [職位および/または委員会の名称]欄で、[森林関連の問題に対する経営層レベルの責任者はいない]を除くいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント
- ii) [責任]欄でいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント
- iii) [森林関連問題を取締役会に報告する頻度]欄で[四半期に1回以上の頻度]、[四半期に1回]、[半年に1回]、または[年1回]の選択肢が選択されている - 1ポイント

リーダーシップ採点基準

この質問でリーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

以下の基準の両方が満たされている場合に1ポイント付与されます:

[職位および/または委員会の名称]欄で、経営幹部レベルの職位のいずれかまたは[社長]が選択されている

- ii) [森林関連問題を取締役会に報告する頻度]欄で[四半期]または[四半期に一度よりも多い頻度]が選択されている。

- 他のプログラム（気候変動、水セキュリティ）と評価基準を揃えることを目的に、以下の変更がされました。
- 認識レベルにて、最低でも「年1回」以上の取締役会への報告が求められるようになりました。
- リーダーシップレベルにおいて、根拠の説明を求める評価基準が除外され、四半期に一度以上の取締役会への報告を求める基準が設けられました。また、配点も2点から1点へと変更されました。

(F4.3a) 森林関連の問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役にどのようなインセンティブが付与されていますか。

認識採点基準

以下の条件の両方が満たされている場合、2ポイントが付与されます:

- i) [このインセンティブを受ける人物はいない]欄で、[インセンティブを得る資格のある役職]を除くいずれかの選択肢が選択されている。
- ii) [インセンティブの対象となる業績指標はない]を除き、[実績指標]欄でいずれかの選択肢が選択されている。

- 他のプログラム（気候変動、水セキュリティ）と評価基準を揃えるため、認識レベルにおいて一方の行（金銭的褒賞か非金銭的褒賞）での評価となり、配点が4点から2点となりました。
- 金銭的褒賞を与えていることが、リーダーシップレベルでの評価の前提条件となります。

設問ごとの変更点 (F4.5a, F4.5b)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F4.5) 貴社には、森林関連の問題を考慮した方針がありますか。

- はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している
- はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、公開していない
- いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定
- いいえ

(F4.5a) 貴社の方針の適用範囲と内容を表している選択肢をお選びください。

認識採点基準

この質問で認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

[内容]欄で[その他、具体的にお答えください]を除く選択肢を選択するごとに1ポイントが付与され、最大で6ポイント獲得できます。

質問F4.5で[はい、文書化した森林関連方針があるが、非公開]を選択すると、6ポイント満点中最大3ポイントが付与されます。

F4.5で、[いいえ]または[いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定]が選択されている場合 - 3ポイント満点中0ポイント

- 認識レベル評価の前提条件として、情報開示レベルにおいて満点を取得していることが追加されました。
- F4.5への「文書化した森林関連方針があるが、非公開」と「いいえ（方針を持っていない）」の回答を認識レベルでのスコアリング上区別するように変更されました。
- F4.5bは認識レベルの配点が6点から3点に変更されました。

(F4.5b) 貴社にはコモディティ固有のサステナビリティ方針がありますか。方針がある場合、適用範囲と内容を最もよく表している選択肢をお選びください。

認識採点基準

この質問で認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

[内容]欄で[その他、具体的にお答えください]を除く選択肢を選択するごとに0.5ポイントが付与され、最大で3ポイント獲得できます。

質問F4.5で[はい、文書化した森林関連方針があるが、非公開]を選択すると、3ポイント満点中最大1.5ポイントが付与されます。

F4.5で、[いいえ]または[いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定]が選択されている場合 - 3ポイント満点中0ポイント

設問ごとの変更点 (F4.6b)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F4.6b) 貴社の誓約の詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めてお答えください。

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが3.5ポイント以上付与されている必要があります。

...

iv) [説明してください]欄で、選択した基準を満たすために講じられる措置の事例(地理的情報を含む)が記入されている - 2ポイント

リーダーシップ採点基準

この質問でリーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが4ポイント以上付与されている必要があります。

各森林リスク・コモディティに関して、[生産量/消費量のうち誓約の対象となる割合]欄で[100%]が選択されている場合、リーダーシップポイントのみが付与される可能性があります。

...

ii) [基準]欄で、[総森林減少ゼロ]を選択し(なお木材製品に関しては[森林減少の正味ゼロ]の選択も可)、この誓約実現のために前年に講じられた措置の事例(地理的情報を含む)が記入されている - 2ポイント

事例の中に「地理的情報」を含めるように、マネジメント及びリーダーシップレベルの基準が明確化されました。

設問ごとの変更点 (F5.1)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F5.1) 森林関連の問題は、貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

[はい、森林関連問題は統合されています]を選択し、回答が長期的な対象期間と一致し、以下の内容が[説明してください]欄に記入されている各行に対して、マネジメントポイントが付与されます:

i) 森林関連の問題がどのように組み込まれているかについての自社固有の説明 - 1ポイント

ii) 森林関連の問題が戦略的事業計画の側面にどのように組み込まれているかの事例 - 1ポイント

6ポイントが獲得可能です。

リーダーシップ採点基準

この質問でリーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが3ポイント以上付与されている必要があります。

i) マネジメントポイントが満点付与されている場合 - 1ポイント

ii) すべての行で、[はい、森林関連の問題は組み込まれています]が選択されていて、かつ、[長期的な対象期間(年)]欄で[5~10]以外のいずれかの選択肢が選択されている場合 - 1ポイント

2ポイントが獲得可能です。

- 他のプログラム（気候変動、水セキュリティ）と評価基準を揃えることを目的に、以下の変更がされました。
- 情報開示レベルでの満点が、マネジメントレベルでの評価の前提条件から除外されました。
- 2020年はリーダーシップレベルでの評価基準だったものが、マネジメントレベルでの評価基準となりました。（マネジメント採点基準 i）
- マネジメントレベルでの配点が、3点から6点に、リーダーシップレベルでの配点が、6点から2点になりました。
- リーダーシップレベルでの評価を受ける前提条件が、マネジメントレベルでの2/3点から3/6点となりました。
- 新たなリーダーシップレベルの評価基準が追加されました。（リーダーシップ採点基準 i）

設問ごとの変更点 (F6.1a)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.1a) 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすための期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗についてお答えください。

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが1ポイント以上付与されている必要があります。

各森林リスク・コモディティに関して、マネジメントポイントを獲得するには以下の条件を満たす必要があります：

- [目標年]欄に2020年以前の年が記入されている場合、[目標達成度(%)]欄に100%が記入されている必要があります。
- [目標の種類]欄で[第三者認証スキーム]が選択されている場合、[第三者認証スキーム]欄で[RTRS certificate trading]、[RSPO Book and Claim]、および[その他、具体的にお答えください]を除くいずれかの選択肢が選択されている必要があります。
- [目標の種類]欄で[トレーサビリティ]の選択肢が選択されている場合、[トレーサビリティポイント]欄に[国]、[州または同等の法律管轄区域]、[地方自治体または同等の法律管轄区域]、または[最初の輸入者]を除くいずれかの選択肢を記入する必要があります。F0.4で、[小売]および/または[製造]のみが選択されている場合、[国]または[最初の輸入者]を除くいずれかの選択肢を選択しなければ得点できません。

マネジメントポイントは以下のように付与されます：

- i.i) [目標(%)]欄に100%と記入されている - 1ポイント
または
- i.ii) [目標(%)]または[目標(数字)]欄で特定の目標が選択されている理由の説明が[説明してください]欄に記入されている - 1ポイント
- ii) [関連付けられた誓約]欄で、[総森林減少ゼロ/正味森林減少ゼロ]または[自然生態系の転換なし]の選択肢が選択されている - 1ポイント
- iii) [目標の種類]欄で、[その他、具体的にお答えください]を除く異なる選択肢が選択されている行が3つ以上含まれている - 1ポイント
- iv) [説明してください]欄に、会社がどのようにこの目標の達成を計画しているか/達成したかの説明が記入されている - 1ポイント

各森林リスク・コモディティに対して4ポイントを獲得可能です。

森林リスク・コモディティ1点につき1行のみが評価対象となります。

- マネジメントレベルの評価基準が簡略化されました：2020年は目標タイプ別に異なる評価基準が設けられていましたが、2021年では全ての目標タイプは統一された基準で評価されます。
- 統一基準を導入するために、目標タイプ特有の基準は除外され、その分、リーダーシップレベルの基準であったものが、マネジメントレベルの基準として追加されました（評価基準iv）。

設問ごとの変更点 (F6.1a)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.1a) 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすための期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗についてお答えください。

リーダーシップ採点基準

この質問でリーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

各森林リスク・コモディティに関して、リーダーシップポイントを獲得するには以下の条件を満たす必要があります：

- [目標年]欄に2019年～2030年を回答。

- [目標(%)]欄が当てはまる場合、100%を記入する必要があります。

i) 目標への進捗が線形である場合、すなわち、 $((\text{報告年} - \text{開始年}) / (\text{目標年} - \text{開始年})) * 100 \leq \text{達成度}(\%)$ - 2ポイント

森林リスク・コモディティそれぞれにつき2ポイントが獲得可能です。

森林リスク・コモディティ1点につき1行のみが評価対象となります。

- 2つあったリーダーシップレベルの評価基準の内、1つをマネジメントレベルに移動させたため（前頁参照）、2021年ではリーダーシップレベルの評価は「目標達成に向けた進捗度」によってのみ評価されます。
- リーダーシップレベルの評価を受ける「前提条件」が新たに加われました：目標値(%)は100%であること。ただし、目標が%ではなく絶対値である場合には、こちらの前提条件は適用されません。

設問ごとの変更点 (F6.2)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.2) 開示したコモディティの原産地を追跡、監視するために導入しているトレーサビリティシステムがありますか。

森林リスク・コモディティ	導入しているシステムはありますか。	トレーサビリティシステムの内容	除外	除外の詳細
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はいいいえ	文章記入欄[最大2,400文字]	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">国/地理的エリア事業活動施設特定の製品ライン特定のサプライヤー該当なしその他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,400文字]

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、情報開示ポイントと認識ポイントが満点付与されている必要があります。

i) [トレーサビリティシステムの内容]欄で、コモディティのトレーサビリティを確保できるポイントまで選んで森林リスク・コモディティを追跡するために使用された方法の説明が記入されている - 2ポイント

森林リスク・コモディティそれぞれにつき2ポイントが獲得可能です。

質問F6.2aで付与されたマネジメントポイントが0ポイントである場合、この質問では2ポイント満点中1ポイントを獲得できます。

リーダーシップ採点基準

採点対象外

- 情報開示レベルで満点を取っていることが評価の前提条件となりました。
- 後続のトレーサビリティのレベルについて問う設問(F6.2a)での評価の影響を受けようになりました。(次頁参照)
- 同設問はリーダーシップレベル評価の対象外になりました。

設問ごとの変更点 (F6.2a)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.2a) 開示したコモディティについての貴社におけるトレーサビリティレベルについてご記入ください。

森林リスク・コモディティ	コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント	総生産/消費量のうちの割合
選択肢: <ul style="list-style-type: none">F6.2で[はい]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: <ul style="list-style-type: none">表の下に示されているドロップダウンリスト	数値記入欄[0~100の数字を入力]

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

各森林リスク・コモディティに関して、[コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント]欄で[追跡不可能]、[国]、または[最初の輸入者]が選択されている行を除いて、[総生産/消費量のうちの割合]欄で報告した数値が合計50%以上になる場合、マネジメントポイントを獲得できます。

[コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント]欄で、[国]、[州または同等の法律管轄区域]、[地方自治体または同等の法律管轄区域]、[最初の輸入者]、または[追跡不可能]を除くいずれかの選択肢が選択されている場合、1ポイントが付与されます。F0.4で、[小売]および/または[製造]のみが選択されている場合、[国]、[最初の輸入者]、または[追跡不可能]を除くいずれかの選択肢を選択しなければ得点できません。

各森林リスク・コモディティに対して1ポイントが獲得可能です。

森林リスク・コモディティ1点につき1行のみが評価対象となります。

- 「総生産量・消費量の50%以上が国・最初の輸入者を越えたレベルのポイントでトレースできる」という、新たなマネジメントレベル評価での「前提条件」が追加されました。
- 2020年の評価では、「製造」もしくは「小売」に従事する企業はトレーサビリティポイントが「最初の輸入者」でも点数が付与されていましたが、2021年からは付与されなくなりました。

設問ごとの変更点 (F6.3)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.3) 開示したコモディティについて第三者認証を採用していますか。

森林リスク・コモディティ	第三者認証スキームが採用されていますか。	総生産量および/または消費量のうち認証を受けた量の割合
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はいいいえ、このコモディティに対しては第三者認証スキームを採用していません	数値記入欄[0~100の数字を入力]

認識採点基準

この質問で認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。
[第三者認証スキームが採用されていますか?]欄で[はい]を選択することに対して、1ポイントが付与されます。
各森林リスク・コモディティに対して1ポイントが獲得可能です。

マネジメント採点基準

i) [総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入された割合の合計が70%以上 - 1ポイント
各森林リスク・コモディティに対して1ポイントが獲得可能です。

リーダーシップ採点基準

i) [総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入された割合の合計が90%以上 - 1ポイント
各森林リスク・コモディティに対して1ポイントが獲得可能です。

- こちらの設問は2021年からF6.3とF6.3aという二つの設問に分割されました。
- F6.3の質問では、シンプルに認証の有無とその割合を尋ね、F6.3で認証スキームを採用している場合に限り、F6.3aで採用している認証スキームの更なる詳細を尋ねるように変更されました。
- F6.3の評価基準は、2020年のF6.3の評価基準と同じものとなっており、F6.3aについては新たな評価基準が設けられています。
- こちらの設問の「総生産量/消費量のうち認証を受けた量の割合」で報告された値は、後続の新設問 F6.3aの評価時に参照されます。（p21-22を参照）

設問ごとの変更点 (F6.3a)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.3a) 認証スキームごとに貴社の生産および/または消費の量と割合の詳細な内訳をお答えください。

森林リスク・コモディティ	第三者認証スキーム	使用した加工・流通過程管理モデル	総生産量/消費量のうち認証を受けた量の割合										
選択肢: F6.3で[はい]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	選択肢: ● アイデンティティ・プリザーブド (IP) ● セグリゲーション (SG) ● マスバランス (MB) ● 認証取引 ● 該当なし	数値記入欄[0~100の数字を入力]										
		<table><tr><th>コモディティの形態</th><th>認証を受けた生産量/消費量</th><th>量の測定基準</th><th>2つ以上のスキームの認証を受けていますか。</th><th>説明してください</th></tr><tr><td>該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト</td><td>数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]</td><td>選択肢: ● トン(メートル法) ● リットル ● ガロン ● 丸太相当量 (RWE) ● 木質原材料相当量 (WRME) ● 立方メートル ● 平方メートル ● その他、具体的にお答えください</td><td>選択肢: ● はい ● いいえ ● 不明</td><td>文章記入欄[最大2,400文字]</td></tr></table>	コモディティの形態	認証を受けた生産量/消費量	量の測定基準	2つ以上のスキームの認証を受けていますか。	説明してください	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: ● トン(メートル法) ● リットル ● ガロン ● 丸太相当量 (RWE) ● 木質原材料相当量 (WRME) ● 立方メートル ● 平方メートル ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● はい ● いいえ ● 不明	文章記入欄[最大2,400文字]	
コモディティの形態	認証を受けた生産量/消費量	量の測定基準	2つ以上のスキームの認証を受けていますか。	説明してください									
該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: ● トン(メートル法) ● リットル ● ガロン ● 丸太相当量 (RWE) ● 木質原材料相当量 (WRME) ● 立方メートル ● 平方メートル ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● はい ● いいえ ● 不明	文章記入欄[最大2,400文字]									

- 2020年のF6.3の中できかれていた内容の一部を取り出し、F6.3aという設問となりました。
- 2020年は認証量について、消費と生産を分けた開示をお願いしていましたが、それはあまり問題ではないとの判断で、開示負担を減らすために除外されました。
- 「第三者認証スキーム」として、選択できるパーム油関連のスキーム（RSB関連）が追加されました。
- 異なるスキームが使用された量については、別の行としてご回答ください。
- 「使用される加工・流通過程管理モデル」(Chain-of-custody) という項目が新たに追加されております。これは、認証スキーム名だけでは、どの加工・流通過程管理モデルが使用されたのか判別できないものがあるためです。
- 開示データの質の向上を目指し、ダブルカウントの有無を確認するため「2以上のスキームの認証を受けていますか」の項目が新たに追加されました。
- 全てでなく一部分のみが複数の認証の対象となっている場合も、「2つ以上のスキームの認証を受けていますか」の欄で「はい」をお選びください。
- 加工・流通過程管理モデルの説明はこちらをご覧ください（[リンク](#)）

設問ごとの変更点 (F6.3a)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.3a) 認証スキームごとに貴社の生産および/または消費の量と割合の詳細な内訳をお答えください。

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、認識ポイントが満点付与されている必要があります。

a) [使用される加工・流通過程管理モデル]欄が選択した第三者認証スキームに当てはまる場合、以下のようにポイントが付与されます:

i) [使用される加工・流通過程管理モデル]欄で、[認証取引]を除くいずれかの選択肢が選択されている。[該当なし]が選択されている場合、[説明してください]欄に関連する理由を記入する必要があります - 2ポイント

ii) [説明してください]欄で、第三者認証システムの改善および/または維持のために前年に講じた措置の説明が記入されている - 1ポイント
または

b) [使用される加工・流通過程管理モデル]欄が当てはまらない場合、以下のようにポイントが付与されます:

i) [第三者認証スキーム]欄で、[RSP0 Book and Claim]、[RTRS certificate trading]、[すべての種類]以外の選択肢のいずれかが選択されている - 2ポイント

ii) [説明してください]欄で、第三者認証システムの改善および/または維持のために前年に講じた措置の説明が記入されている - 1ポイント

各森林リスク・コモディティに対して4ポイントを獲得可能です。

森林リスク・コモディティ1点につき1行のみが評価対象となります。

F6.3で[はい]が選択されていない - 4点満点中0ポイント

リーダーシップ採点基準

この質問でリーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

i) [総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入されたすべての割合の合計がF6.3に記入された割合以上。割合がF6.3に記入された割合より大きい場合、[2つ以上のスキームの認証を受けていますか?]欄の1つ以上の行で[はい]を選択する必要があります - 1ポイント

各森林リスク・コモディティに対して1ポイントが獲得可能です。

F6.3で[はい]が選択されていない - 1点満点中0ポイント

- マネジメントレベルにおいて、「使用される加工・流通過程管理モデル」の項目の回答が該当するか否か（認証スキームに依存します）によって、評価ルート（aルート/bルート）が決まります。
- 一部のベストプラクティスとはいえない「使用される加工・流通過程管理モデル」や「第三者認証スキーム」ではマネジメントレベルの点数がつかまないのでご注意ください。
- リーダーシップレベルでは報告データの整合性がチェックされます。「総生産量および/または消費量のうち認証を受けた量の割合」の全ての行での合計がF6.3で報告された割合より多い場合には、少なくとも1つの行において、「はい」を選択し、複数スキームによる認証を受けている必要があります。

設問ごとの変更点 (F6.3a) - 回答例 -

F6.3:	森林リスク・コモディティ	第三者認証スキームが採用されていますか。	総生産量および/または消費量のうち認証を受けた量の割合
	Palm Oil	Yes	70%

F6.3a
1行目:

森林リスク・コモディティ	第三者認証スキーム	使用した加工・流通過程管理モデル	総生産量/消費量のうち認証を受けた量の割合	認証を受けた生産量/消費量	2つ以上のスキームの認証を受けていますか。	説明してください
Palm Oil	RSPO Segregated	Column does not apply	70%	70,000 metric tons	Yes	35,000 tonnes (35% of our total palm oil volumes) are also ISCC-certified. In 2020, we increased our RSPO-certified volumes by...

2行目:

森林リスク・コモディティ	第三者認証スキーム	使用した加工・流通過程管理モデル	総生産量/消費量のうち認証を受けた量の割合	認証を受けた生産量/消費量	2つ以上のスキームの認証を受けていますか。	説明してください
Palm Oil	International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)	Segregation	35%	35,000 metric tons	Yes	Our whole ISCC-certified volume is also RSPO-certified, see first row. In 2020, we maintained our ISCC certification by...

使用された加工・流通過程管理(Chain-of-custody) モデルが認証名から明確でないため、こちらの欄で回答いただく必要があります。

70% + 35% = 105% これはF6.3で報告されている割合(70%)よりも大きくなっていますが、「2つ以上のスキームの認証を受けていますか?」の欄で「Yes」が選択されているため、問題ありません。

設問ごとの変更点 (F6.8)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.8) 直接サプライヤーによる貴社の森林関連方針、誓約、およびその他の要件への順守を支援するために、貴社は直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていますか。

マネジメント採点基準

この質問でマネジメントポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

a) [直接サプライヤーとエンゲージメントしていますか。]欄で[はい、直接サプライヤーとエンゲージメントしています]の選択肢が選択されている場合、以下のようにポイントが付与されます:

i.) [直接サプライヤーとのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかが選択されている - 0.5ポイント:

- [現地トレーニングと技術支援の提供]
- [キャパシティビルディング・イベントの企画]
- [パイロットプロジェクトへの投資]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い]
- [認証製品に対する金銭的インセンティブ]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた与信枠の提供]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた購入保証]
- [森林関連コモディティに関連付けられた長期契約]
- ...

リーダーシップ採点基準

この質問でリーダーシップポイントを獲得するには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

...

iii) [直接サプライヤーとのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかが選択されている - 1ポイント:

- [現地トレーニングと技術支援の提供]
- [パイロットプロジェクトへの投資]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い]
- [認証製品に対する金銭的インセンティブ]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた与信枠の提供]

...

- 2020年まではリーダーシップレベルのみでの評価対象となっていたエンゲージメント手法が、マネジメントレベルでの評価にもつながるように変更されました。
- 変更の対象となった手法については、赤枠部分をご参照ください。

設問ごとの変更点 (F6.9, F6.10)

スコアリング
の変更

質問の変更

質問・基準の
明確化



(F6.9) 森林減少リスクを管理および緩和するために一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか。

質問の依存性

本質問は、F0.4の回答で以下の選択肢の選択肢を選択した場合にのみ、表示されます:**[取引]**、[製造]、[販売]。

2020年では、森林コモディティのバリューチェーンにおいて「製造」「販売」に携わる企業が、こちらの設問の対象となっておりましたが、新たに「取引（Trading）」に従事する企業も対象に加わりました。

(F6.10) 貴社の森林関連方針と誓約の実行を促進するために、社外の活動および/またはイニシアチブに参加していますか。

森林リスク・コモディティ	活動/イニシアチブに参加していますか。	活動	イニシアチブ*	管轄アプローチ**
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はいいいえ	選択肢: <ul style="list-style-type: none">マルチパートナーシップまたはステークホルダーイニシアチブに参加した管轄アプローチに参加した政策担当者や政府に対してエンゲージメントを行っている業界プラットフォームに参加しているコミュニティに対してエンゲージメントを行っている非政府組織に対してエンゲージメントを行っている調査機関への出資を通してその他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">生産し、保全し、含める (PCI)グリーン地方自治体プログラム生産、保護、および包含 (PPI)持続可能な森林景観のためのバイオ炭素基金イニシアチブRSPO認証に対する管轄アプローチ持続可能な地域協会 (Lingker Temu Kabupaten Lestari)検証済み調達地域森林、農場、および金融イニシアチブINOBU(インドネシア)その他、具体的にお答えください

「管轄アプローチ」として、新たな選択肢（INOBU）が追加されました。



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



Contact email address:
japan@cdp.net